

飯舘村から平和を願う 令和元年度飯舘村戦没者追悼式

8月23日、交流センター「ふれ愛館」で、「戦没者追悼式」が行われ、参列者が、戦争で亡くなられた方々の冥福を祈り、平和の継承を誓いました。追悼式は、3年に1度行われており、飯舘村遺族会（赤石澤備会長／上飯樋）や村の関係者らが出席し、戦没者の追悼を行っています。


式では、菅野村長が、「戦争によつて、多くの方が亡くなられたことは永久の悲しみです。戦後74年を過ぎてなお、世界では争いが絶えない。令和という新

い時代、戦争の記憶の風化が危ぶまれているが、戦争の悲惨さ、平和のありがたみを忘れずに、守っていききたい」とあいさつ。続いて参列者の代表が、献花を行いました。

式の後には、遺族会と「飯舘村英霊にこたえる会（佐藤長平会長／宮内）」が主催する「戦没者慰霊祭」も執り行われました。

参列者からは「戦争は二度と起こしてはいけない」「戦争を知らない世代にしっかりと語り継いでいかなければ」という声がかれました。

式に参列していた方に、戦争当時のお話をうかがいました。



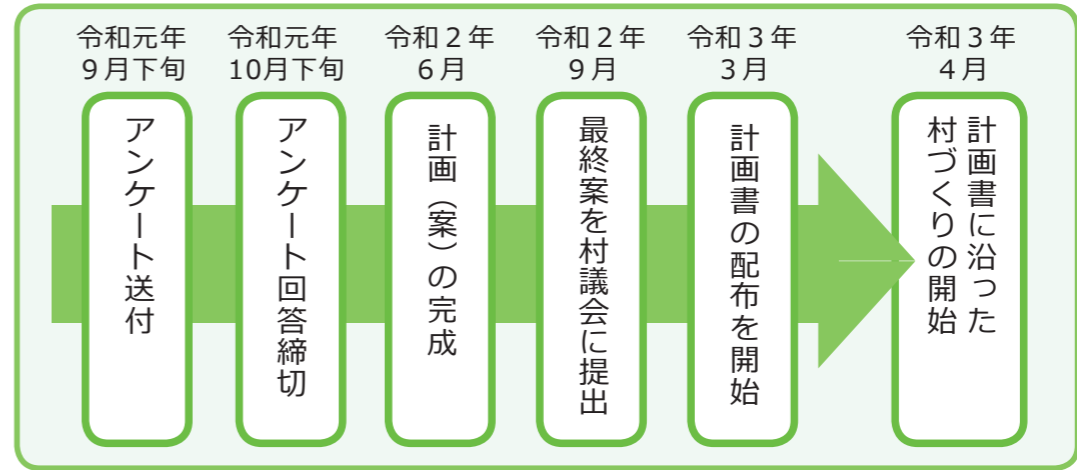
赤石澤フチノさん（上飯樋）

戦争当時は8才。家族も戦地に出兵していました。食べ物も少なくて大変でしたが、幸い農家だったので、自分達が食べる分くらいは確保できました。戦後のまづしい時も、隣近所と助け合って、分け合って何とか乗り越えてきたのです。

戦争を知らない、あの悲惨さを体験したことがない人には「おもしろい」「命の大切さ」を実感してほしいと思います。「助け合う」という気持ちも大切にしてほしいです。



▲これまでの飯舘村総合振興計画書です！



6次総策定のイメージ

- ① アンケート、地域別話し合い**
中学生以上を対象とした郵送によるアンケートと、村内を地域別（5地域程度）に分けて実施する話し合いにより、今後どのような村を作っていきたいか考えます。
- ② 策定委員会及び専門部会**
村民、有識者、役場職員などで構成する策定委員会及び分野別の専門部会で、6次総の内容を話し合います。専門部会は「厚生環境」「地域産業」「教育文化」「農村生活」の4部会の予定です。
- ③ 策定審議会**
村民、有識者、関係団体役員などで構成される組織です。①と②を基に作成した6次総の計画（案）を審議します。
- ④ 村議会**
③で審議された計画（案）を、村長が村議会に上程します。村議会の可決後、6次総に沿った村づくりが可能になります。

皆さまのご協力が必要です

総合振興計画には、村の発展や、より良い暮らしのためにセンター地区の整備（3次総）、までのライフの推進（5次総）など、様々な内容が盛り込まれます。

6次総においても、「急激な人口減少」「産業振興」「健康状態の改善」「義務教育学校との連携」「村の財政の今後」など、多くのことを決める予定です。

村役場だけでは今後の飯舘村をつくることはできませんので、村内各団体・組織・企業、そして村民の皆さまにも、6次総の策定と、計画の実行について、ご協力をお願いいたします。

センター地区は3次総で整備が計画されました

